

誰もが大切にされる街さがみはらを

Run伴さがみはら2016が開催されました！

認知症になっても安心して暮らせる街をつくる一をテーマに、全国をオレンジ色のたすきで繋ぐ、「Run伴」は9月10日に市内で30以上のチームが参加し、相模原市内で、一層賑やかに、そして当事者のサービス利用者の方たちも参加してのイベントになりました。

やまゆり園でのやりきれない事件に対するメッセージも込められた、「誰もが大切にされる街さがみはら」を目指す

思いも横断幕になりました。

私は、チーム相模大野の皆さんと、南保健福祉センターからスタート、相模台方面から双葉、大野台まで走る途中で、当事者の利用者さんとも一緒に歩くことができました。地域の事業者さん、包括支援センター、支えてくださる商店街の方たちなど、実行委員会のご苦勞も実る飛躍したイベントになったと思います。

街づくりは人づくりと、改



私も当日はTシャツとランニングシューズで参加しました。

めて実感し、当たり前のコミュニケーションができる街にしていく努力をこれからもできるところで、と思った1日でした。

傍聴しましょう！ 公民館の貸室有料化の説明を

9月から12月まで、市の生涯学習課が、各公民館の運営協議会（公運協）に出席し、「公民館の貸室利用に係る使用料導入に向けた検討について」という資料をもとにヒアリングを行う、としています。

相模原市がかつて先進性を持った、地域の社会教育、成人教育の拠点としての公民館活動でした。しかし、社会教育法の変遷などとともに教育主事を廃し、現在の任期付短時間勤務職員などの職員体制の変化に見られるように、在

り方を変えられてきました。それでも「無料の原則」は維持され続け、地域の支えによって今日まで成り立っています。

私は代表質問で、公運協以外にも広く利用者市民の意見を聴くことを求め、清掃作業など、今無料だからと地域の利用者が公民館を支えるボランティア貢献をしていることについて、どう反映されるのか、とも問いました。

しかし、教育委員会は、「利用者が減少する事や、公民館

を支える意識が低下することがないように」という平成25年に出された建議を引用しながらも、料金設定を公運協のヒアリング後、算定していく、と前のめりです。

公運協の説明会には、一律に面積で算定した料金案が示されています。

ぜひ、公運協を傍聴して多くの市民の関心事であることを示し、市の手法についても注視していきましょう。

わかっている日程は以下の通りです。

●11月11日 橋本公民館 清新公民館 19時30分より

●11月16日 相武台公民館 19時30分より ●11月18日 上鶴間公民館 大野中公民館 19時30分より

日程は市のホームページでも公開されています。